

湧 愛

YOU & I

編集・監修・発行

 安曇野市男女共同参画推進会議
 安曇野市男女共同参画コミュニケーター
 安曇野市

事務局：安曇野市人権男女共同参画課

電話：(0263) 71-2000(代)

FAX：(0263) 71-5155

安曇野市男女共同参画フォーラム2018

主催 安曇野市

安曇野市男女共同参画フォーラム実行委員

(男女共同参画推進会議 / コミュニケーター / JAあづみ / JA松本ハイランド / 松本人権擁護委員協議会安曇野部会)

平成30年7月21日(土) 安曇野市役所4階大会議室において『女性が活躍する環境づくりに向けて』と題し安曇野市男女共同参画フォーラム2018を開催、約70人が参加しました。

第1部 長野県副知事 中島恵理さんによる講演会

長野県での女性による持続可能な地域づくりの事例として「国際女性教育振興会長野県支部」「アルプス女性企業家会議」による異業種連絡の地域づくり、松本発の「食器リサイクル」の取り組みが全県に展開されてきたことなど、県内では様々な活動をする女性が存在していると紹介しました。更に、安曇野市の統計調査を示しながら、議員・自治会長・PTA会長など活躍しづらい所なども多いと述べていました。

また、男女共同参画コミュニケーターの活躍や、地域での男女共同参画推進の仕組みの重要性、積極的な女性登用の仕組み、育児をしている人にとっても働きやすい職場づくりのための「イクボス・温かボス」の展開、女性の就業支援、県内高校・企業との協働による物づくり、人材育成の大切さを訴えていました。

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 中島副知事

パネリスト 山田 聡 さん (有)宗明会代表取締役
 丸山 凜 さん 南安曇農業高等学校3年生(生徒会長)
 三原 満美子 さん 子育てサークル ひまわりクラブ会員

山田さんは、介護の仕事を通して、働き手不足の現実がある。無資格でも分業や短時間勤務も可能、資格取得の応援もしたい。仲間達と意見交換をし、介護の仕事のやりがいを伝えたい。

丸山さんは、進学し管理栄養士になり、自分の能力を発揮したい。子育てしながら働ける制度の整った職場を望み、社会にも貢献する姿を自分の子ども達にも見せたい。

三原さんは、子育て期の勤務は、周りに気を使う。夫婦で役割分業や育児日記などで情報を共有している。今後は子育てと仕事を両立していけたらと思う。病児保育の必要性を感じている。

と、それぞれの立場の意見や要望を述べ、中島副知事は自身の話題を交えながら、多様な人生の選択肢や職場における働き方(ワーク・ライフ・バランス)の推進や病児保育の取り組みなどを紹介しました。



～目次～

- 1頁 ◆男女共同参画フォーラム2018
- 2頁 ◆企業訪問【安曇野赤十字病院】
- 3頁 ◆日本語deスピーチ大会
◆地域を照らす
- 4頁 ◆ファミリーサポート
◆男女共同参画川柳 ◆つなぐ

企業訪問 7月に安曇野赤十字病院を訪ねました

長野県の「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証取得を今年4月にされた安曇野赤十字病院を訪問しました。

1. 安曇野赤十字病院の現況

- ・従業員数 600人余 (非・正規社員/短時間勤務者/パート等含む3分の2は女性)
- ・勤務体制 多様な働き方を取り入れたシフト制
- ・育児休業取得者 約20人/年 (男性取得者数人) ・短時間勤務 約30人/年
- ・社内託児 未満児保育13人

2. 認定取得に取り組んだ理由

- ・ワーク ライフ バランスを考え働く環境を整える
- ・職員の定着率確保と能力発揮への期待、求人(採用)に効果的、イメージアップに繋がると考えた

3. 認証手続き

- ・非正規社員から正規社員への登用を実施した
- ・認証要件項目は、すでに取り組んでいる内容が多く、県のアドバイザーが協力してくれたため、書類の作成や申請手続きはスムーズに行えた

4. 認証取得したことによる効果

- ・働く環境が整えられ、いきいきと働き続けられるようになった
- ・職場環境を管理職と一般社員双方が意識するようになった

安曇野赤十字病院では、この他にも、イクボス宣言・くるみんマークの取得をしているそうです。事務部長さんの「病院は人を大切にする場だと思う。来院する人だけではなく、働く社員も大切に出来る職場づくりが必要」との言葉が印象に残りました。

職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度

仕事と家庭の両立ができる(ワーク・ライフ・バランス)職場環境の改善や、雇用の安定を進め、従業員がいきいきと働き続けられるように短時間正社員制度などの多様な働き方制度を導入し、実践的な取り組みを行っている企業等を認証する長野県独自の制度(H27.7施行)。

認証を受けることにより、「一歩進んだ」企業として認められ、企業のイメージアップにつながるるとともに、優秀な人材の確保・定着や従業員のやる気向上、職場の活性化などのメリットがある。

〈申請書類〉	認証申請書・実践状況書・実践内容を証明する書類
〈提出先〉	所管労政事務所(安曇野市は中信労政事務所)
〈要件〉	社員の子育て応援宣言(すでに登録企業であること) 雇用制度の整備(すでに社員に周知されていること) 多様な働き方の導入実践 非正規社員の処遇改善 職場環境改善 などがある

※ 安曇野市では7/31現在、4企業が認証取得している

安曇野赤十字病院の認証書





日本語 de スピーチ大会 が開催されました!



あづみの国際化ネットワークでは、今年度も7月29日(日)市役所4階大会議室において、安曇野市の後援のもと「日本語 de スピーチ大会」を開催しました。

スピーチの内容はとても良かったので、もっと多くの市民の方に聞いて欲しかったという感想が出ました。また、交流タイムでのベトナムの方の優しい歌声に感動しました。

来年は、日本人住民側からも外国人住民との心温まるエピソードや、戸惑っていることなどを聞けると良いと思っています。
(あづみの国際化ネットワーク事務局)

《発表者一覧》

【中国】	高木世津	: 日本の魅力	郭蘭絹	: ページを開けば心も広く
【ブラジル】	西村ヒロシ	: 僕の将来の夢	西村ユキ	: 私たちの世界を変えるテクノロジー
【韓国】	姜智允	: みんな一緒!		
【ベトナム】	矢久保あすえ	: ベトナムの学校		
【ネパール】	ラナ・アマン	: 日本での忘れられない思い出		
【インドネシア】	ドディ	: 日本の生活		
	ムハンマド・アリフ・ラフマツ	: インドネシアについて		
	ハリス・ウイチャクソ	: イスラム教徒として生きること		
	リアン・ブルウイト	: ABC と 3C というのは		



地域を照らす

安曇野ファミリーサポートセンター

＜サポートセンターからの声＞

現代においては、子育てが家族の手や公的サービスだけでは不足できないケースもあります。センターでは地域の支えあいの仕組みをもとに、子育て家庭と地域の方との素敵なつながりができるよう活動させていただいております。

＜依頼会員からの声＞

ファミリーサポートに登録するきっかけは、近くに頼れる身内や友人がいないことに加え、第3子の出産に備え子ども達の世話を願っていることでもあると思い至ったからでした。

そして登録後、娘の保育園(こども園)の送迎のために、すぐに協力会員様を紹介していただく必要性が出てきました。協力会員様が見つかるのか不安や緊張がありましたが、早急に対応していただくことができました。

ご協力いただいた方は、娘の保育園にご自身のお子様を通わせていたという事もあり、保育園の様子もご存じで、何より同じ子育て中の方ということで、とても安心でき心強く思いました。

いつも笑顔で対応していただき、本当にありがたく思っております。

(送迎支援の様子)



＜協力会員からの声＞

- ・お互いの会員同士で時間の調整をしてうまく活動ができている。
- ・自分自身の出産時の経験もあり、助けてもらった事もあるので、今度は手助けを行いたい。
- ・サポートしているお子さんも手をつないでくれたり、慣れてきているのが嬉しく感じる。

安全・安心・優しさを繋ぐ「ファミリーサポート」

取材より

子どもを見てくれる人がいなくて困ったことはありませんか？育児支援が必要な方（依頼会員）と支援することができる方（協力会員）の繋ぎの役割をするのが「ファミリーサポート事業」です。依頼会員や協力会員は、研修や登録をして互いに信頼関係を構築して事業は行われています。

支援手助けの内容

通常サポート	送迎・託児等の支援
病児・病後児サポート	病児・病後児の見守り、急な保育園のお迎え等
通常サポート	保護者の急な病気・仕事の都合等、突発的な事象に当日対応

依頼会員の条件 (① ②を満たす方で、登録が必要)

----- ①市内に居住、又は勤務している方 ②0歳～小学6年生までのお子さんがいる方 -----

協力会員と依頼会員が事前の打ち合わせをして依頼会員、依頼会員の自宅・児童館などの公共の場所等で支援活動を行います。

このファミリーサポート事業は、利用する方の増加が予想されます。大切な社会の宝である、子ども達を守り育てるために、一層「ファミリーサポート事業」の周知と多くの方に理解していただく事が重要だと思います。

なお、本事業は安曇野市から委託を受け、社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会が行っています。

男女共同参画川柳寄稿

男女間
溝をつくらぬ
認めあい
孝子

ご主人は
問われ
私と女声
寸鉄

家事育児
スマホ見ながら
パパ奮闘
やなちゃん



安曇野市ファミリーサポートセンター
はじめてのファミサポご利用案内

ファミリーサポートセンター事務局
(堀金老人福祉センター内)

電話 0263-71-1125
開館 8:30 ~ 17:30
土日・祝日 12/29 ~ 1/3 を除く

クォータ（割り当て）制度とは？

議員や会社役員などの女性の割合を、一定数に定めて積極的に起用する制度をクォータ（割り当て）制と言います。

クォータ制の発祥地で知られるノルウェーでは、法制化によって一般企業にもクォータ制を導入し、女性の社会進出が大きく進んだとされています。

日本では本年、「政治的分野における男女共同参画の推進に関する法律」が、5月16日国会で可決、成立しました。この法律は「候補者男女均等法」「女性議員増法」とも言われる理念法（出来る限りそうした）です。

日本の女性議員の比率は、2018年3月の調査によると193カ国中140位13.7%、長野県は8.9%ちなみに1位はルワンダ55.7%、5位スウェーデン43.6%です。日本の選挙にクォータ制を取り入れた時が、日本にとっての男女共同参画の始まりなのかもしれません。

(編集室)

